

平成 29 年度

「運営に関する計画」

大阪市立鯰江東小学校

平成 29 年 4 月

## 1 学校運営の中期目標

## 現状と課題

- 全国学力・学習状況調査において全教科で課題がみられる。特に、全教科で2極化の傾向が認められ、さらなる「わかる授業」づくりが急務である。
- 全国学力・学習状況調査の意識調査では各設問に対して「当てはまる」と積極的な回答をしている児童の割合の低い項目が多く、学習に対する自信のなさがうかがえられる。
- 学習規律や家庭学習の習慣は身についてきている。しかし、家庭での生活は、学習時間・テレビ等でゲームの両項目で、多くの時間を使っている児童が多い。過ごし方が二つに分かれているように思われる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、総合的な運動能力は良好である。ただ、長座体前屈・ソフトボール投げ・50m走（女子）において課題がある。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動に関する意識は、男女ともに否定的な回答が目立つ。運動することが嫌い・苦手と思っている児童が多いのも課題である。
- いじめや不登校の問題において、解決すべき課題はあるが、保護者や関係機関と連携して取り組んでいる。

## 中期目標

## 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成33年度の小学校経年調査「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答える児童の割合を90%以上にする。
- 平成32年度末の学校生活アンケートにおける「学校生活は楽しいですか」の項目において、「はい・どちらかといえば楽しい」と答えた児童の割合を80%以上にする。

## 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成33年度の小学校経年調査における正答率4割以下の児童の割合を、いずれの学年も平成28年度より5ポイント減少させる。
- 平成33年度の全国体力・運動習慣調査において、特に課題である「長座退屈前」「ソフトボール投げ」の平均記録を、平成28年度の記録より向上させる。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ・平成29年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と答える児童の割合を前年度より増やしていく。
- ・平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- ・平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる割合を、前年度より減少させる。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- ・平成29年度の小学校学力経年調査における各学年の標準化得点を、前年度より向上させる。
- ・平成29年度の小学校学力経年調査における正答率4割以下の児童の割合を、いずれの学年も前年度より減少させる。
- ・平成29年度の小学校学力経年調査における正答率7割以上の児童の割合をいずれの学年も前年度より増加させる。
- ・平成29年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の記録を前年度より増加させる。
- ・平成29年度の全国体力・運動能力習慣調査において、特に課題である長座体前屈・ソフトボール投げの平均の記録を、前年度より向上させる。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

(様式例 2)

大阪市立鯨江東小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 評価基準 A : 目標を上回って達成した  | B : 目標どおりに達成した           |
| C : 取り組んだが目標を達成できなかった | D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標  | 達成状況 |
|---|------|
| <p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95 %以上にする。</li> <li>平成 29 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と答える児童の割合を前年度より増やしていく。</li> <li>平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</li> <li>平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる割合を、前年度より減少させる。</li> </ul> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標  | 進捗状況 |
|---|------|
| <p><b>取組内容①【施策 1 安心できる学校・教育環境の実現】</b><br/>児童の実態を把握し、いじめなどの早期発見に努め、その解消に取り組む。<br/>(カリキュラム改革関連)</p>                     |      |
| <p><b>指標</b><br/>月 1 回の生活指導部会において、いじめなどの事案について話し合い、その解決に向けた学校環境づくりに取り組む。</p>  |      |
| <p><b>取組内容②【施策 1 安心できる学校・教育環境の実現】</b><br/>「学校のきまり・規則」を常に児童が意識し、実践するように日々指導を行う。<br/>(カリキュラム改革関連)</p>                   |      |
| <p><b>指標</b><br/>校内アンケートを実施し、「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答える児童の割合を 80 %以上にする。</p>                 |      |
| <p><b>取組内容③【施策 1 安心できる学校・教育環境の実現】</b><br/>不登校児童対策において、保護者や関係機関と連携した取り組みを進め、不登校児童の割合を、前年度より減少させる。<br/>(カリキュラム改革関連)</p> |      |
| <p><b>指標</b></p> <p>○児童の状況を適切に把握し、保護者や関係機関と連携して状況に応じた多様な取組みを行う。</p> <p>○児童の状況把握をするための具体的な施策を図る。</p>                   |      |

**取組内容④【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】**

年間計画に基づいて、災害時に備えた訓練を継続して実施する。

(カリキュラム改革関連)

**指標**

通常の訓練を年3回、地域と連携した訓練を年1回実施する。

**取組内容⑤【施策2 道徳心・社会性の育成】**

異学年によるグループ活動や行事を通して、互いに思いやり、協力することの大切さを学ばせ、自尊心の向上に取り組む。

(カリキュラム改革関連)

**指標**

児童に対する学校生活アンケートの「自分にはよいところがある」の項目で、「ある、どちらかといえはある」と答える児童の割合を70%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

## (様式例2)

## 大阪市立鯨江東小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 評価基準 A：目標を上回って達成した  | B：目標どおりに達成した           |
| C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標  | 達成状況 |
|---|------|
| <p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度の小学校学力経年調査における各学年の標準化得点を、前年度より向上させる。</li> <li>平成29年度の小学校学力経年調査における正答率4割以下の児童の割合を、いずれの学年も前年度より減少させる。</li> <li>平成29年度の小学校学力経年調査における正答率7割以上の児童の割合をいずれの学年も前年度より増加させる。</li> <li>平成29年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の記録を前年度より増加させる。</li> <li>平成29年度の全国体力・運動能力習慣調査において、特に課題である長座体前屈・ソフトボール投げの平均の記録を、前年度より向上させる。</li> </ul> |      |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標  | 進捗状況 |
|---|------|
| <p><b>取組内容①【施策8 施策を実現するための仕組みの推進】</b></p> <p>教員の指導力向上と校内研修の支援の充実に取り組む。</p> <p>研究教科「算数」を重点に、算数指導の充実と進化に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>      |      |
| <p><b>指標</b></p> <p>○各教員は年間1回以上の研究授業を行い、指導力の向上を図る。</p> <p>○算数の授業における「授業はよくわかりましたか」のアンケート項目について、1学期よりも3学期において「よくわかった」と答える児童の割合を向上させる。</p>                            |      |
| <p><b>取組内容②【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</b></p> <p>○子どもの体力・運動能力向上のための取組みの充実を図る。</p> <p>○年間を通して柔軟性や持久力向上にむけた取り組みを行う。 (カリキュラム改革関連)</p>                                      |      |
| <p><b>指標</b></p> <p>○体育の授業や運動遊びで継続的な取り組みを全学年で行う。</p> <p>(ストレッチ・縄跳び・水泳)</p> <p>○課題のある柔軟性を高めるための取組みを全学年で行う。</p> <p>○学期ごとに「長座体前屈」の記録をとり、1学期よりも8割以上の児童が記録を上回るようにする。</p> |      |

**取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組み】**

- 「主体的・対話的で深い学び」を目指した学習に努める。

(カリキュラム改革関連)

**指標**

- 研究教科の算数科を中心に、学習課題を明確にした問題解決的な学習を行う。  
○学習の中に、「自分で調べ考える」「小集団で話し合う」などの場を設定し、主体的で対話的な学びを推進する。  
○算数の授業における「自分の考えをもつことができましたか」のアンケート項目について、1学期よりも3学期において「もつことができた」と答える児童の割合を向上させる。

**取組内容④【施策7 健康や体力保持を増進する力の育成】**

保健委員による月に一度の清潔調べや学期に一度の健康週間の実施、さらには「保健だより」などの活用を通して、ハンカチやティッシュを携帯し、手洗い・うがいをする習慣が身につくように指導する。 (カリキュラム改革関連)

**指標**

- 健康週間がんばりカードによる実態調査で、手洗いをしていると回答する児童の割合を年度末には80%以上にする。  
○ 保健委員による月1回の清潔調べで、「ハンカチ、ティッシュを持って来ている」と答える児童の割合をどの学級も80%以上にする

**取組内容⑤【施策7 健康や体力保持を増進する力の育成】**

食事の大切さに关心が持てるよう、食に関する指導を計画的に行う。

(カリキュラム改革関連)

**指標**

- 栄養教諭による授業を各学年、年2回行う。  
○ 給食週間がんばりカードで「残さず食べた」と回答する児童の割合を80%以上にする。

•  
•  
•  
•

**年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析**

**次年度への改善点**

(様式例 3 )

平成 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 (学校園名) 学校協議会

1 総括についての評価

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

|                  |
|------------------|
| 年度目標：            |
|                  |
| 年度目標：            |
|                  |
|                  |
| •<br>•<br>•<br>• |

3 今後の学校園の運営についての意見